



雄飛

健康

友愛

自律

行方市立麻生第一中学校 学校通信

平成23年11月10日発行 No.23

<http://www.sopia.or.jp/asofjh/asou/>

E-mail asoufjh@sopia.or.jp

第34回 (FINAL!) 雄飛祭 11月12日(土) テーマ 「雄飛 ～最高の終止符を～」

11月12日(土), 行方市文化会館で行われる「雄飛祭」に向けての準備が着々と進められています。その中心となって活動してくれているのが雄飛祭実行委員です。この実行委員会は、1学期に発足しました。もちろん生徒会や合唱実行委員会との連絡・調整を行いながら今日まで進めてきました。

特に今年は麻生一中最後の「雄飛祭」ということもあり、テーマを「雄飛」(雄々しく羽ばたき飛んでいく)と決めました。麻生一中らしさを追求することによって、最後の雄飛祭を最高の時間にしたいと考えています。(雄飛祭実行委員作成のプログラムより) お問い合わせの上是非お越しください。

雄飛祭実行委員 (敬称略)

委員長	田島	副委員長	土子
3学年実行委員	内田 高須 小澤 新橋	小林 高須	奈良崎
2学年実行委員	内山 大槻 杉山 鬼澤 小澤 瀬川	奈良寄 小貫 横山	宮内 原目 藤崎 飯田 大塚 堀越
1学年実行委員	瀬尾 野川	稲川 鬼澤	村松

合唱実行委員 (敬称略)

委員長	坂本
3学年実行委員	箕輪 菅谷 浦浪 衣川 横山
2学年実行委員	箕輪 杉山 山野 箕輪 小貫 高村 平山 倉辻 相河
1学年実行委員	堀越 石島 岡野 小沼



雄飛祭実行委員会



合唱練習風景



11月は「いばらき教育月間」

いばらき教育月間推進事業の一つとして、各校で様々な活動が行われています。その一つが「さわやかマナーアップキャンペーン」です。本校では、11月7日(月)～11日(金)の期間を「朝のあいさつ運動」期間として、「一日の始まりをさわやかに」を合い言葉に頑張っています。



(いばらきの広報広聴ウェブページより)

11月13日(日)は「県民の日」！

「県民の日」は、県民が県の歴史を知り、自治意識を高めて、郷土の発展と飛躍を願う日です。茨城県は、8世紀前半、奈良時代に編纂された常陸国風土記に「土地広く、土が肥え、海山の産物もよくとれ、人びと豊かに暮らし、常世の国のように」と記されているように、古来から多くの人々が豊かに暮らしてきました。



県章

1871年(明治4)7月14日、廃藩置県の詔書により全国に3府302県が置かれました。同年**11月13日**には、これらが統廃合されて3府72県となりました。このとき、本県域には「**新治県**」、「**印旛県**」そして「**茨城県**」が置かれました。

明治元年から100年目にあたる1968年(昭和43年)に「県民の日」を定める条例が制定され、初めて「茨城県」という県名が用いられたこの日を「県民の日」と決めました。

県章の形態は、「常陸国風土記」の「茨城郡」の条に「**茨**」(うばら)が見えるなど本県の自然や歴史に関係の深いばらを基本モチーフに、開き始めたばらのつぼみをダイナミックに象徴化したものです。

新しい時代を先導する県にふさわしい“未来指向の斬新なイメージ”をデザインの基調とし、茨城県の「**先進性**」「**創造性**」「**躍動**」「**発展**」を表現しています。国際的なグラフィックデザイナー永井一正氏が制作し、県民の参加のもとに決められたものです。県章の色は、県のシンボルカラー「いばらきブルー」(鮮やかな青色)を基本としています。新しい時代に向かう県民の心のよりどころとして、県政120年を迎えた、1991年(平成3年)11月13日に定められました。

県民の日には、県関連の施設で入場料等割引やいろんなイベントがあります。そのほかにも、お得なチケットなどもあります。この機会に、ぜひ郷土いばらきの再発見におでかけください。

